

## 「第三者評価を受けて～事業者からのコメント～」

西光保育園

今回、第三者評価に参加させていただき、職員が心を一つにして、これまでの保育を見直すことと同時に、職員一人一人が自己を振り返る良い機会になりました。

“記録”が大切であること、“できない”とあきらめるのではなく“工夫”し“創造”することが大切であることを気づかせていただきました。

ご指摘いただきました今後の課題については、一つ一つを真摯に受け止めて、さらなる質の向上のために、子どもたちのより良い育ちのために、保護者の子育て支援のために、改善を重ねていきたいと思っております。

- ・ケース会議は平成25年度より毎月保育会議後に定期的に行う。
- ・玩具の選定を全職員で検討し、子どもが使いやすいよう工夫する。
- ・個人面談にすべての保護者が参加できるように工夫するとともに、参加できない保護者の記録も整備する。
- ・関係機関からの情報を、保護者が見やすいように工夫して備える。
- ・関係機関や子育てサークル等と連携した取り組みを積極的に行う。
- ・職場内研修の年間計画を作成する。

日々取り組んできた“縦割り保育”と“心の教育”について、良い評価をいただいたことは、創立以来の歴史と、長年の努力を認めていただいたと一同喜んでおります。

これに甘んじることなく、子どもの育ちの原風景に責任を持って、職員一同、一層の研鑽を重ねていきたいと思っております。